

◆科目名：言語学特殊講義A(GB 概説)

◆曜限：火曜4・5限(15:25-17:05, 17:20-19:00)

◆担当者：石井 透

◆オフィスアワー: By Appointment (tishii@meiji.ac.jp)

◆授業内容

現在の生成文法では、ミニマリスト・プログラムを理論的指針として研究が進められています。しかし、ミニマリスト・プログラムのみを見ていても、その本質を理解することが出来ないために、オリジナルな研究へと結び付けるのが難しいというのが現状だと思われます。ミニマリスト・プログラムの本質を理解するには、どのような概念的・経験的要請に基づいて理論が進展してきたというを理解することが必要です。さらに、ミニマリスト・プログラムの指針に基づいて書かれている論文であっても、それ以前の研究成果が基盤となっている以上、以前仮定されていた理論的枠組みの理解が不可欠となります。ミニマリスト・プログラムではMergeという操作のみによって構造が組み立てられると考えられています。しかし、そこに至る理論的背景や経験的証拠についての理解がなければ、真に理解したことにはなりません。

Chomsky (2021, 2023)において、Duality of SemanticsはMergeの適用条件の一つとして提案されています。この授業では、拡大標準理論の枠組みでDuality of Semanticsに関して詳細に議論しているChomsky (1972)を取り上げ、理論的推移を概観し理解を深めたいと思います。そして、Duality of Semanticsを裏付ける証拠としてのImproper Movementに関する文献も扱います。Improper Movementは、A/A'位置の区別が前提となっていますが、日本語のScramblingについての文献を取り上げ、A/A'位置についての理解を深めたいと思います。さらに、Duality of SemanticsとExternal Merge/Internal Mergeとの関係、及びScramblingとラベル理論についても取り上げる予定です。

◆授業の進め方

下記シラバス1, 2までは担当教員の講義、3以降は履修者の発表で進める予定です。

1. Duality of Semantics

Read: Chomsky (1972)

2. Improper Movement

Read: May (1979), Fukui (1993)

3. Scrambling and A/A' Distinction

Read: Saito (1992)

4. Scrambling and Labeling

Read: Saito (2016)

5. Duality of Semantics and External/Internal Merge

Read: Chomsky (2007)

◆参考文献:

- Chomsky, N. (1972) Deep structure, surface structure, and semantic interpretation, *Studies on semantics in generative grammar*, Mouton.
- Chomsky, N. (2007) “Approaching UG from Below,” *Interfaces + Recursion = Language?: Chomsky's Minimalism and the View from Syntax-Semantics*, ed. by U. Sauerland and H. Gartner, pp. 1-29, Mouton de Gruyter, Berlin.
- Fukui, N (1993) A note on improper movement, *The Linguistic Review* 10.2, pp. 111-126.
- May, R. (1979) Must COMP-to-COMP movement be stipulated? *Linguistic Inquiry* 10.4, pp. 719-725.
- Saito, M. (1992) Long distance scrambling in Japanese, *Journal of East Asian Linguistics*, 1.1, pp. 69-118.
- Saito, M. (2016) (A) Case for labeling: Labeling in languages without  $\phi$ -feature agreement, *The Linguistic Review* 33, pp. 129-175.

◆成績評価:

Attendance 10%, Class Participation 20%, Presentation 70%